

レシピ 川西いずみ会

●材料 4人分

- トマト ..... 大1個(200㍑)
  - 卵 ..... 2個
  - ジャガイモ ..... 小1個(60㍑)
  - 塩・ごま油 ..... 各少々
  - だし ..... 300cc
  - 酒・薄口しょうゆ ..... 各大さじ1/2
  - 添え野菜(スナップエンドウなど) ..... 適宜
- 熱量(おとな1人分): 764kcal、塩分: 0.6㍑

●作り方

- ① トマトを湯むきして1.5㍑角に切る。ボールの上にざるを置き、トマトを入れて塩を振って軽く混ぜ、出た水分にだしと酒を加える。ざるに残ったトマトは別で置いておく。
- ② 皮をむいたジャガイモを7㍑角に切り、電子レンジ(600㍑で1分30秒)にかけ、粗熱を取って冷ましておく。
- ③ 卵と①を混ぜ合わせ、薄口しょうゆを加える。
- ④ 器にトマトと②を入れ、③を注ぐ。蒸気の上があった蒸し器に入れ、強火で2~3分蒸し、さらに弱火で10~12分蒸す(電子レンジを使う場合は600㍑で6分~7分)。仕上げにごま油と添え野菜を加える。



## トマトの茶碗蒸し

暑い日には冷やしてもおいしい一品

市政情報

求人・募集

催し  
公民館

ごみ  
カレンダー

セミナー  
発表・鑑賞

スポーツ

健康

相談の案内  
高齢者

福祉  
中央図書館

子育て

コラム

フオ  
トス

## 消費生活センターだより

消費生活センター  
☎(740)1167

### 人を誘うだけでもわかる

「簡単に稼げる」  
そんなうまい話はありません

事例 「スマホをぼちぼちするだけで今月の収入が20万円を超えた」「シンプルに稼いでいます」というSNSの投稿を見て興味を持った。話を聞きたくて投稿した人に連絡を取ったら、一度説明会に行こうと誘われた。会場で「オンラインゲームの宣伝をする会員になってもらう。会員になるには登録料20万円が必要。でも、誰かを誘って2人が会員になれば元が取れる。会員を増やせばどんどんもうかる。ゲームをする人が増えると宣伝料も入る」と言われた。簡単にもうかる話だと思い、申し込んだ。20万円を持っていないだったので即日発行のクレジットカードを作って払うように言われた。スマホで効果的な宣伝方法を教えてもらったが、会員になってくれる人は1人もいなかった。カード会社から請求書が届いたが支払えない。どうすればいいか。(20歳代 学生)

この契約はマルチ商法と呼ばれるものです。人を紹介することで簡単にもうかると勧誘されますが、多くの人は最初に支払ったお金を取り戻すことが難しい取り引きです。事例の場合は、契約書を受け取った日から20日間のクーリング・オフ期間がありますが、事業者にはSNSでしか連絡を取れず、住所、連絡先などが分からない状態です。

他にも「簡単にもうかる」「すぐに稼げる」といったSNSの投稿を見て連絡したところ、仮想通貨の投資方法やネット広告で稼ぐノウハウなどの高額な情報商材を買わされたという相談があります。簡単にもうかる話はありません。契約する前に慎重に考えましょう。困った時はすぐに消費生活センターにご相談ください。

## 生きる

人権推進課  
☎(740)1150

### 生徒たちが誇りを持てる学び

放課後に通う解放学級  
目標は胸を張って学校を卒業させること

総合センターで行っていた解放学級は、そこに通う生徒にとって放課後に通うもう1つの学校。私は同和教育推進教員として、解放学級の担任のように接してきました。落ち着いて勉強ができない生徒もいる中で、「この生徒にはどう接したらいいのか」と悩むことも多かったです。

前回お話しした通り、家庭で勉強ができない状況にある子もいました。それは差別という問題によって引き起こされたもので、勉強がしたくてもできない状況。やる気にさせることの難しさに直面していました。厳しい言葉で発破をかけて一方的に教えるのではなく、褒めて教えることを基本に進めていました。

解放学級では人権学習も行います。授業の後には担任チームで毎回反省会を行っていました。生徒の反応や返ってきた言葉を拾い上げ、「もっと深く説明した方がいい」「あの言葉が出た理由はなんだろう」と議論を行います。毎回1時間以上の時間をかけ、生徒が抱える課題をどのように解決するかを考えてきました。年に3回小・中学校の教員も交えた学習会を開催し、連携も行ってました。

私たちが解放学級でめざしていたのは、生徒たちが誇りを持つことです。学力をつけることも、自分自身に自信を持つことにつながります。人権学習の中でも、運動団体が解放運動を通して勝ち取ってきた成果を教えることは、生徒たちにとって大きな誇りとなりました。

厳しい状況に置かれている生徒たちが、胸を張って学校を卒業すること。それが私たち教員の目標でした。

(緑台小学校区人権啓発推進委員会委員長 矢野端)